

自治体・協議会名	日進市地域公共交通会議
評価対象事業	地域間幹線系統地域内フィーダー系統 利便増進事業(計画推進)

二次評価結果

評価できる取組

- ・道の駅マチテラス日進の開駅に合わせ、梅森線、五色園線、岩崎線、循環線の路線見直しを行うなど、地域公共交通の利便性向上に取り組んだことを確認しました。
- ・manacaとマイナンバーカードの連携によるポイント還元事業の取り組みにより、くるりんバスの利用促進及び高齢者の外出機会創出に結びつけていることを評価します。
- ・地元大学との交通に関する連携協定に基づき、スクールバスの混乗化やジブリパーク直行便の運行を実現するなど、地域の輸送資源を有効活用し公共交通の利便性向上に繋げている一連の取り組みを評価します。

期待する取組

- ・現在実施中の日進市地域公共交通利便増進実施計画による取組のほか、引き続き、尾三地区等周辺の自治体や事業者とも連携し、公共交通の利用促進や利便性・持続性の向上に繋がる取組が実施されることを期待します。
- ・コミュニティバスの再編後、利用者数は減少傾向にあるため、地域公共交通計画の中間評価とあわせて現状把握や分析等を行い、関係者と連携して更なる利用促進に向けた取組が進められることを期待します。
- ・「くるりんタクシー事業」について、引き続き、既存公共交通への影響にも配慮しつつ、利用者の利便性向上に係る検証を継続的に進められることを期待します。
- ・地域間幹線系統である「くるりんバス梅森線、五色園線」について、輸送量が補助要件基準の15人を大きく下回っており、このままでは利便増進実施計画の計画期間満了後に補助落ちとなる可能性が高いことから、再編後の利用実態の把握に努めるとともに、県、沿線市町、運行事業者等関係者と連携して更なる利用促進を図るよう期待します。